

大阪・中之島 時代と建築の響き合い ～中之島フェスティバルシティ完成記念～

グローバルなビジネス拠点
ツインタワーと中之島香雪美術館ができるまで

日本の美の殿堂

大阪・都心に並び立つ中之島フェスティバルタワー・ウエスト(左)と中之島フェスティバルタワー・ウエスト4階に「中之島香雪美術館」が開館。

大阪・中之島のランドマークとして、超高層のツインタワーからなる「中之島フェスティバルシティ」が完成し、新しいまちが動き始めました。さらに、2018年3月21日(水・祝)にはフェスティバルタワー・ウエスト4階に「中之島香雪美術館」が開館。国内外から注目を集める「日本の美」の発信拠点の誕生は、関西随一のビジネス&文化ゾーンである中之島エリアの魅力にますます磨きをかけ、水都・大阪の発展に貢献していくことでしょう。多くの期待のもと、完成に至ったツインタワーと美術館のさまざまな創意工夫とエピソードをひもときます。



中之島香雪美術館

報告 ～中之島フェスティバルシティ完成記念～「ツインタワーのできるまで」&「中之島香雪美術館」事前見学会

◆日時: 2017年11月16日18時～20時30分 ◆会場: 中之島会館 (大阪市北区中之島3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト4階)

第1部

〈講演〉「ツインタワーのできるまで」

講師: 陳 雨青氏 (株式会社竹中工務店 大阪中之島フェスティバルタワー・ウエスト作業所 副部長)

第2部

〈講演と見学会〉「中之島香雪美術館ができるまで」

講師: 臼倉 恒介氏 (中之島香雪美術館 開設準備室長(現・館長))
吉野 泰司氏 (朝日広告社 香雪美術館プロジェクト室)

主催: アサヒ・ファミリー・ニュース社 後援: 朝日新聞社 協力: 公益財団法人 香雪美術館、朝日ビルディング 協賛: 竹中工務店、関電工、高砂熱学工業

都心に「市中の山居」 日本の美を世界に発信



中之島香雪美術館の展示室

中之島香雪美術館 2018年3月21日(水・祝)開館

公益財団法人香雪美術館は、2018年3月21日(水・祝)、開館45周年を記念し、同館コレクションを軸に優れた美術品を展示する「中之島香雪美術館」を開館します。「中之島フェスティバルタワー・ウエスト」の近代的なビル空間の中にありながら、めざしたのは静謐(せいひつ)で格調ある空気に包まれる「市中の山居」。日本の美を心ゆくまで堪能できる美術館の常設展示と、オープンから1年かけて開催される開館記念展シリーズの見どころをご紹介します。

茶室「中之島玄庵」



茶室「中之島玄庵」

重要文化財・旧村山家住宅(神戸市)に立つ茶室「玄庵」を、原寸大で再現しました。茅葺(かやぶ)き屋根、土壁、柱など、本物と同じ材料を使用。展示にあたっては、茶室正面の土壁部分を取り外せるように造作し、本来、外部からはうかがいにくい茶室内部の空間を見やすく工夫しています。

茶室を囲む壁面上部には、神戸・御影の四季の風景をCG加工した映像を映し出し、自然の移ろいの中で変化する茶室の様子が楽しめます。

村山龍平記念室



村山龍平記念室

中之島香雪美術館の所蔵品の多くは、朝日新聞創業者の村山龍平のコレクションです。記念室では、新聞づくりに邁進(まいしん)し、同時に日本の文化や美術を支援した村山の生涯をたどります。旧村山家住宅の約90分の1のジオラマを展示するほか、洋館の2階居間部分を再現したコーナーも。岡倉天心らが創刊し、村山が財政支援した現存最古の美術雑誌「國華」も紹介します。

中之島香雪美術館開館記念展「珠玉の村山コレクション～愛し、守り、伝えた～」

主催/公益財団法人香雪美術館、朝日新聞社、朝日放送

I. 美術を愛して | 3月21日(水・祝)～4月22日(日)

村山龍平と特にゆかりの深い名品を中心に、村山の美術品収集の軌跡をたどります。収集の背後に物語のある作品を選び、コレクションのエッセンスを味わう好機となります。



重要文化財・伝(周文時代)「瀬戸八景図屏風(金町時代、15世紀)」

IV. ほとけの世界にたゆたう | 10月6日(土)～12月2日(日)

明治初頭、村山は寺院や神社に伝わる宗教美術に意識をむけるようになります。村山の中に芽生えた「文化財」は「保護」されるべき、という近代的精神を伝えます。



重要文化財「聖徳太子像(鎌倉時代、13～14世紀)」

II. 美しき金に心をよせて | 4月28日(土)～6月24日(日)

仏教美術を荘厳し、屏風(びょうぶ)絵や工芸品を彩り、日本人の心を魅了してきた金に飾られた日本美術の世界を、「金の哲学」「金の装飾」の2テーマにわけて紹介します。



重要美術品 長谷川等伯「柳橋水車図屏風」(桃山・江戸時代、16～17世紀)左隻(させき)

V. 物語とうたにあそぶ | 12月15日(土)～2019年2月11日(月・祝)

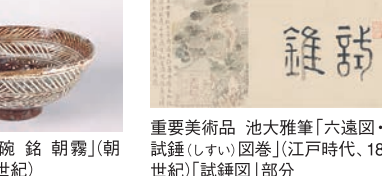
説話や王朝文学を絵画化した「物語絵」、優れた歌人の和歌とその肖像を描く「歌仙絵」など、日本美術とかわつてきた物語とうたをテーマに作品を紹介します。



岩佐又兵衛「堀江物語絵巻」(江戸時代、17世紀)

III. 茶の道にみちびかれ | 7月7日(土)～9月2日(日)

刀剣収集、文化財保護から茶の道へ。50歳を超え、収集の幅が広がっていった村山コレクションを、茶室「玄庵」の資料、古書画目録などをもとにたどります。



重要美術品 池大雅筆「六通図・試鍾(しいう)図巻」(江戸時代、18世紀)「試鍾図」部分

中之島 香雪美術館

Nakanoshima Kosetsu Museum of Art

一般900(700)円/高大生500(350)円/小中生200(100)円
※()内は前売り/20人以上の団体料金

※開館時間: 10時～17時(入館は16時30分まで) ※月曜休館(祝日の場合は翌火曜)、年末年始休館
http://www.kosetsu-museum.or.jp/nakanoshima/ 2018年3月21日(水・祝)開館

大阪市北区中之島3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト4階

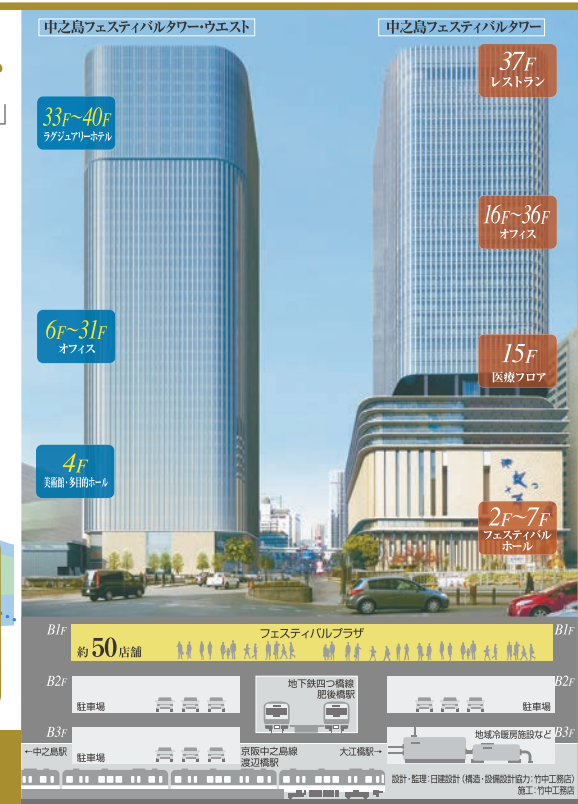
- 地下鉄四つ橋線「肥後橋」駅
- 京阪中之島線「渡辺橋」駅と直結
- JR「大阪」駅桜橋口から徒歩11分
- 地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅から徒歩6分
- JR「北新地」駅から徒歩8分

ようこそ、CREATIVE が生まれるまちへ

中之島の中心地に昨年誕生した新しい街「フェスティバルシティ」。高さ200mの超高層ツインタワー「中之島フェスティバルタワー」「中之島フェスティバルタワー・ウエスト」からなる、ビジネス・音楽・芸術・食文化が集う「クリエイティブ拠点」へ、あなたも。



株式会社 朝日ビルディング 〒530-0005 大阪市北区中之島2-3-18
http://www.asahibuilding.co.jp/



新たな創造の集積地に待望の美術館が3月開館

紙上採録

時代と建築の響き合い ～中之島フェスティバルシティ完成記念～ 「ツインタワーのできるまで」&「中之島香雪美術館」事前見学会

主催：アサヒ・ファミリー・ニュース社 後援：朝日新聞社 協力：公益財団法人 香雪美術館、朝日ビルディング 協賛：竹中工務店、関電工、高砂熱学工業



中之島会館での講演終了後、「中之島香雪美術館」見学へと移動する参加者たち。
エントランスの切り子格子の後ろの壁は漆喰(しっくい)だ

そのシンボルが、旧村山家住宅にある国指定重要文化財の茶室「玄庵」を写して造った「中之島玄庵」だ。単なるレプリカではない。素材も技法も徹底的にこだわった。本物だからだ。しかし「美術館に水は禁物

そのシンボルが、旧村山家住宅にある国指定重要文化財の茶室「玄庵」を写して造った「中之島玄庵」だ。単なるレプリカではない。素材も技法も徹底的にこだわった。本物だからだ。しかし「美術館に水は禁物

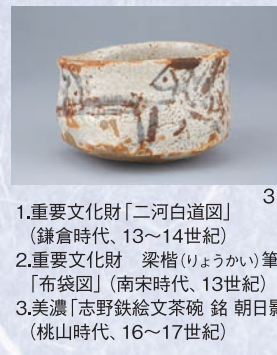
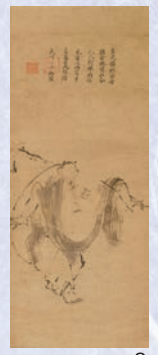
2018年3月21日「中之島香雪美術館」開館

この春オープンする「中之島香雪美術館」は、朝日新聞社の創業者である村山龍平(1850～1933)が収集した日本と東アジアの古い時代の美術品を所蔵する、神戸・御影にある香雪美術館の2館目の美術館となる。開館1年目は、「珠玉の村山コレクション

ンへ愛し、守り、伝えた～」と題する5回シリーズの開館記念展を開催。重要文化財19点、重要美術品22点をはじめとする貴重なコレクションの全容を伝え、新たな研究成果を披露する、初の大規模展となる。

【開館記念展「珠玉の村山コレクション～愛し、守り、伝えた～」 I. 美術を愛して】

会期	2018年3月21日(水・祝)～4月22日(日) ※月曜休館(祝日の場合は翌火曜)
開館時間	10時～17時(入館は16時30分まで)
入館料	一般900(700)円、高大生500(350)円、小中生200(100)円 ※()内は前売り・20人以上の団体料金



- 1.重要文化財「二河白道図」(鎌倉時代、13～14世紀)
- 2.重要文化財「梁楷(りょうかい)筆「布袋図」(南宋時代、13世紀)
- 3.美濃「志野鉄絵文茶碗 銘 朝日影」(桃山時代、16～17世紀)

が見たい」と口をそろえていた。館内には、村山翁の記念室も設けられ、御影の書斎の実物大模型や岡倉天心の依頼で経営を引き受けた美術雑誌「國華」の歴代の表紙、中之島朝日建築の年表なども展示。幕末から昭和へ、激動の時代を駆け抜けた新聞人、数奇者の歩みを知ることができる。今春のオープンが楽しみだ。



「中之島玄庵」の細部に見入る参加者たち。背後の壁面には「玄庵」がある御影の旧村山家住宅の広大な庭園の四季折々の景色が映し出される仕組みだ

精巧に再現された茶室に感嘆の声



白倉恒介さん
「中之島香雪美術館」開設準備室長(現・館長)

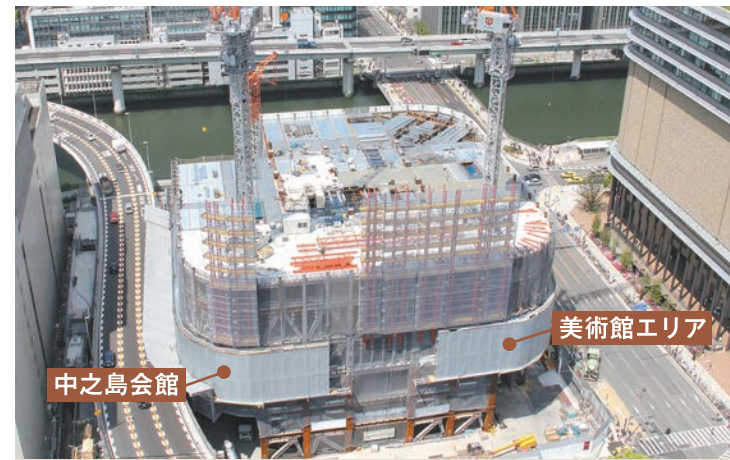
2部に登場したのは、ウエストの目玉の一つである中之島香雪美術館の開設備室長・現・館長、白倉恒介さんと、その開設に奔走した朝日広告社の吉野泰司さんだ。



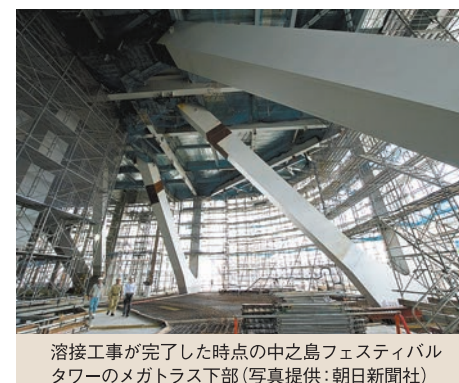
吉野泰司さん
朝日広告社(香雪美術館プロジェクト室)

ですから、庵の周囲の植え込みや手水鉢はレプリカですけれど」と吉野さん。講演の後、美術館を見学した人たちは、その出来栄に驚きの声が上がっていた。

精巧に再現された茶室に感嘆の声



2015年4月時点のウエストの躯体(くたい)工事状況。地上鉄骨工事、1階から7階床までの躯体工事、外周TAC足場の組み立て工事を同時進行で進めた



溶接工事が完了した時点の中之島フェスティバルタワーのメガトラス下部(写真提供：朝日新聞社)

さらにウエストには、本体工事前にも難間があった。西側で阪神高速道路が南北に貫通する朝日新聞ビルを、交通に支障を及ぼすことなく解体できるのか。許された工期は、道路のリフレッシュ工事で一般車両が通行しない8日間のうち5日間のみ。分刻みのち密な工程に基づく24時間連続工事で無事完了。終了時には路上にゴミ一つ残さなかった。講演中、振動音一つ感じないが「この会場のステージに向かって左側が高速道路。今もちゃんと車が走っています」。

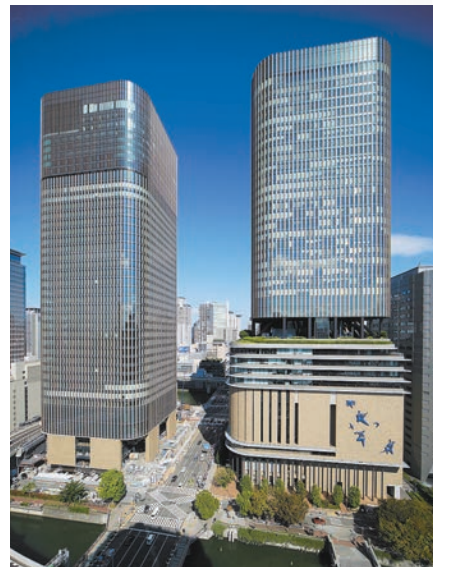
「ホール内部に、柱を置くことはできません。一方で、最高レベルの耐震性を備えねばなりません」。では、どうするか。13階にあるスカイロビーとテラスには、ホールの無柱大空間を成立させるのに不可欠な巨大な鉄骨組みの構造体、メガトラスの一部がむき出しで、展示されている。まだ見てな

先行して建てられた東棟、中之島フェスティバルタワーは、フェスティバルホールの大空間を確保する必要があった。ホール空間と耐震の共存

東棟の経験を生かして建てられたのがウエスト。白眉は新開発の、動く足場だ。その名も竹中式自動上昇足場「A型足場」。道具の落下を防ぐ養生網付きの足場が、施工が3フロア進むごとに最大幅36メートル、高さ14メートルで延べ約47万人が建設に携わった。ただちにこの人数は東棟より約10万人少ない。現場の人々の働きを伝える言葉に、まさにその現場で日々接してきた、陳さんならではの感慨がにじむ。

竹中式 動く足場が活躍

東棟では、建設工事そのものもさることながら、都心部での旧ビルの解体工事の難しさも、定点観測の画像も交えて示された。



中之島の新たなランドマーク ツインタワー

中之島中央部に南北に走る四つ橋筋を挟んでそびえる高さ200メートルのツインタワーからなる新たなまち、フェスティバルシティ。音楽文化の発信地フェスティバルホールと、新たな都市型美術館として期待を集める中之島香雪美術館を目玉とする中之島フェスティバルタワー・ウエスト

軟弱地盤に超高層へのチャレンジ

講演会の会場は中之島フェスティバルタワー・ウエスト4階にある多目的ホール中之島会館。4人1人の高倍率で招待状を手にした人たちは開場前から多数並び、満員の会場は聴衆の好奇心と期待が充ちる熱気に包まれた。まず登壇したのは、歴代の朝日新聞ビルの建築を手がけてきた竹中務店の陳雨青さん。中国から来日して京都の大学で建築を学び、竹中務店入社後、ツインタワーの建設にかかわった。2010年1月の中之島フェスティ



陳雨青さん
(竹中工務店)

イバルタワー着工から昨年4月の中之島フェスティバルタワー・ウエスト開業まで、7年以上に及んだビッグプロジェクトの経緯を知り尽くしたスペシャリストだ。

「このツインタワーは大阪の政治と経済、文化の中心、中之島に立地しています。主要幹線道路の四つ橋筋と京阪中之島線、さらに地下鉄四つ橋線とも接続して、各方面へのアクセスが非常に優れた立地になります。一方、敷地が川に囲まれて非常に軟弱で地下水

竹中工務店は「最良の作品を世に遺し、社会に貢献する」という経営理念のもと、手がける建築の一つひとつを丹精込めてつくってきました。これからも人々が安全に安心して暮らすための「まちづくり」にグループの総力で貢献することによって、サステナブル社会を実現し、地球の未来につないでいきます。

想いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA

株式会社 竹中工務店 本社：〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-13 Tel.06-6252-1201
東京本店：〒136-0075 東京都江東区新砂1-1-1 Tel.03-6810-5000



朝日ファミリーStyle
2018年1月6日号掲載

